

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2027年1月26日まで（2017年4月24日設定）	
運用方針	<p>NYダウインデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式に投資を行い、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	NYダウインデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# NYダウ・インデックスファンド （為替ヘッジなし）

第3期（決算日：2020年1月27日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「NYダウ・インデックスファンド（為替ヘッジなし）」は、去る1月27日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配	み期騰落	期中率	(配当込み、円換算ベース)			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2017年4月24日	10,000	—	—	15,336	—	—	—	1
1期(2018年1月26日)	12,953	0	29.5	19,912	29.8	100.4	2.5	2,254
2期(2019年1月28日)	12,252	0	△ 5.4	18,888	△ 5.1	98.5	2.0	6,476
3期(2020年1月27日)	14,521	0	18.5	22,453	18.9	97.0	2.4	8,674

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCの商品で、輸送株と公益株以外の商品とサービスを提供する米国のすべての上場銘柄から、米国を代表する優良30銘柄を選出し、指数化したものです。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、円換算ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。

「Dow Jones Industrial Average」(ダウ・ジョーンズ工業株価平均) はS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJ」) の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS & P<sup>®</sup>はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S & P」) の登録商標で、DJIA<sup>®</sup>、The Dow<sup>®</sup>、Dow Jones<sup>®</sup>およびDow Jones Industrial AverageはDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。三菱UFJ国際投信株式会社の当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Dow Jones Industrial Averageの誤り、欠落、または中絶に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョージズ 工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、 円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年1月28日	円 12,252	% —	18,888	% —	% 98.5	% 2.0
1月末	12,344	0.8	19,032	0.8	97.7	2.3
2月末	13,080	6.8	20,163	6.8	97.0	2.7
3月末	12,970	5.9	19,999	5.9	96.8	3.3
4月末	13,445	9.7	20,751	9.9	98.2	1.4
5月末	12,537	2.3	19,347	2.4	95.7	4.5
6月末	13,032	6.4	20,118	6.5	96.3	3.7
7月末	13,473	10.0	20,807	10.2	97.2	2.7
8月末	12,832	4.7	19,813	4.9	95.7	4.4
9月末	13,242	8.1	20,454	8.3	96.8	3.2
10月末	13,547	10.6	20,934	10.8	97.1	2.5
11月末	14,151	15.5	21,867	15.8	96.7	3.2
12月末	14,410	17.6	22,273	17.9	97.4	2.5
(期 末) 2020年1月27日	14,521	18.5	22,453	18.9	97.0	2.4

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第3期：2019年1月29日～2020年1月27日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第3期首	12,252円
第3期末	14,521円
既払分配金	0円
騰落率	18.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ18.5%の上昇となりました。

### ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（18.9%）を0.4%下回りました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

第3期：2019年1月29日～2020年1月27日

## 投資環境について

### ▶ 米国株式市況

**米国株式市況は上昇しました。**

米国株式市況は、堅調な企業決算内容などを受けて上昇しました。

### ▶ 為替市況

**米ドルは円に対して下落しました。**

為替市況は、期首に比べて0.3%の円高・米ドル安となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ NYダウ・インデックスファンド （為替ヘッジなし）

資産のほぼ全額をマザーファンドに投資したことにより、基準価額はマザーファンドとほぼ同様の推移となりました。

### ▶ NYダウインデックスマザーファンド

ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）（配当込み、円換算ベース）に採用されている株式（先物を含む）を主要投資対象とし、同インデックスに連動する投資成果をめざして、運用を行いました。高い株式組入比率を維持し、ベンチマーク採用全銘柄に投資を行いました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### ▶ NYダウ・インデックスファンド（為替ヘッジなし）

ベンチマークとの乖離は $\Delta 0.4\%$ 程度となりました。

#### マザーファンド保有以外の要因

ファンドの管理コスト等による影響は $\Delta 0.8\%$ 程度でした。

#### マザーファンド保有による要因

マザーファンド保有による影響は $0.4\%$ 程度でした。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

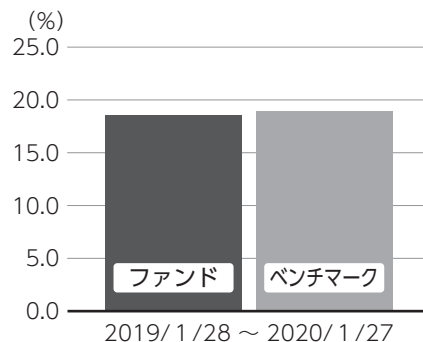
**主なプラス要因：**その他の要因によるものです。

※その他の要因には、ファンドとベンチマークで適用

される配当税率の差異によるプラス要因などが含まれます。

**主なマイナス要因：**取引要因によるものです。

### 基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第3期
	2019年1月29日～2020年1月27日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,520

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ NYダウ・インデックスファンド  
（為替ヘッジなし）  
マザーファンドの組入比率を高位に維持する方針です。

▶ NYダウインデックスマザーファンド  
ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。



2019年1月29日～2020年1月27日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	87	0.652	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(42)	(0.315)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(39)	(0.293)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.043)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.011	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(1)	(0.009)	
（先物・オプション）	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.016	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	90	0.679	

期中の平均基準価額は、13,288円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

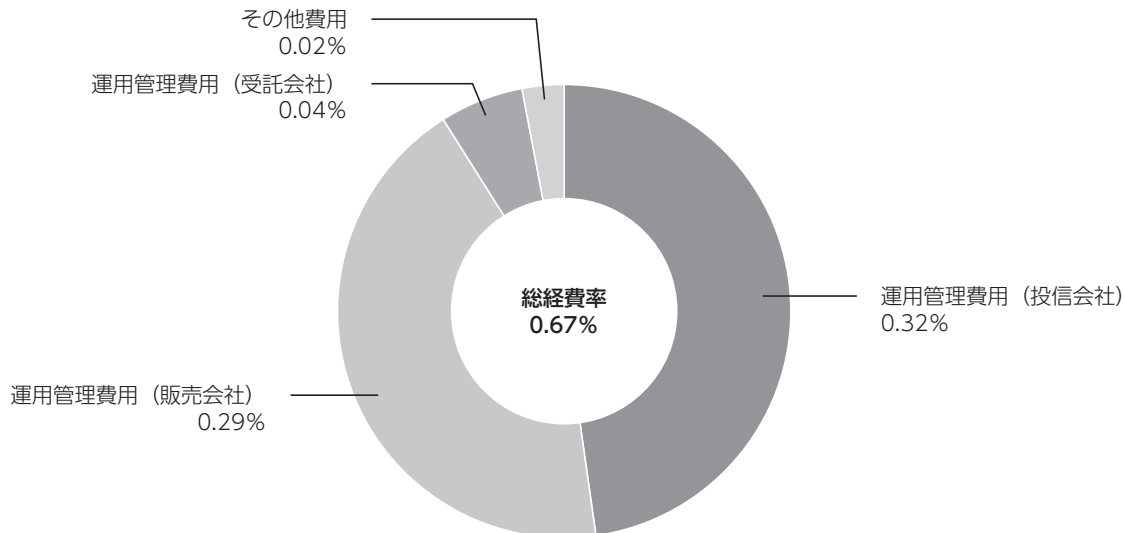
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.67%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年1月29日～2020年1月27日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
NYダウインデックスマザーファンド	千口 1,115,377	千円 2,379,581	千口 719,008	千円 1,591,946

○株式売買比率

（2019年1月29日～2020年1月27日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	NYダウインデックスマザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	6,585,254千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,901,633千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.34	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2019年1月29日～2020年1月27日）

利害関係人との取引状況

<NYダウ・インデックスファンド（為替ヘッジなし）>

該当事項はございません。

<NYダウインデックスマザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	百万円 6,189	百万円 4,801	% 77.6	百万円 5,324	百万円 4,190	% 78.7

平均保有割合 38.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年1月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
NYダウインデックスマザーファンド	千口 3,229,062	千口 3,625,431	千円 8,672,032

○投資信託財産の構成

(2020年1月27日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
NYダウインデックスマザーファンド	千円 8,672,032	% 99.4
コール・ローン等、その他	50,447	0.6
投資信託財産総額	8,722,479	100.0

(注) NYダウインデックスマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(22,219,120千円)の投資信託財産総額(22,234,757千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=109.06円			
-----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年1月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,722,479,470
コール・ローン等	48,860,854
NYダウインデックスマザーファンド(評価額)	8,672,032,901
未収入金	1,585,715
(B) 負債	47,490,248
未払解約金	20,575,127
未払信託報酬	26,776,812
未払利息	21
その他未払費用	138,288
(C) 純資産総額(A-B)	8,674,989,222
元本	5,974,088,071
次期繰越損益金	2,700,901,151
(D) 受益権総口数	5,974,088,071口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,521円

<注記事項>

- ①期首元本額 5,286,234,705円  
 期中追加設定元本額 2,939,313,043円  
 期中一部解約元本額 2,251,459,677円  
 また、1口当たり純資産額は、期末14,521円です。

②分配金の計算過程

項 目	2019年1月29日～ 2020年1月27日
費用控除後の配当等収益額	154,675,106円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	798,242,435円
収益調整金額	1,598,953,835円
分配準備積立金額	149,029,775円
当ファンドの分配対象収益額	2,700,901,151円
1万口当たり収益分配対象額	4,520円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、に当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2019年1月29日～2020年1月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 10,090
受取利息	108
支払利息	△ 10,198
(B) 有価証券売買損益	1,163,605,462
売買益	1,400,507,979
売買損	△ 236,902,517
(C) 信託報酬等	△ 49,903,802
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,113,691,570
(E) 前期繰越損益金	△ 11,744,254
(F) 追加信託差損益金	1,598,953,835
(配当等相当額)	( 726,309,890)
(売買損益相当額)	( 872,643,945)
(G) 計(D+E+F)	2,700,901,151
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	2,700,901,151
追加信託差損益金	1,598,953,835
(配当等相当額)	( 733,591,437)
(売買損益相当額)	( 865,362,398)
分配準備積立金	1,101,947,316

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

株式等インデックスファンドのベンチマークを「配当込み指数」とすることを明示、併せて指数名称の記載整備を行うため、信託約款に所  
 要の変更を行いました。

(2019年7月1日)

# NYダウインデックスマザーファンド

## 《第7期》決算日2020年1月27日

〔計算期間：2019年1月29日～2020年1月27日〕

「NYダウインデックスマザーファンド」は、1月27日に第7期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	米国の株式を主要投資対象とし、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。株式の組入比率は原則として高位を保ちます。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落率	(配当込み、円換算ベース)	騰落率			
3期(2016年1月26日)	13,070	△ 7.8	12,450	△ 8.2	96.6	4.6	3,655
4期(2017年1月26日)	16,179	23.8	15,348	23.3	91.5	8.2	4,126
5期(2018年1月26日)	21,060	30.2	19,912	29.7	100.5	2.5	9,893
6期(2019年1月28日)	20,050	△ 4.8	18,888	△ 5.1	98.5	2.0	17,470
7期(2020年1月27日)	23,920	19.3	22,453	18.9	97.0	2.4	22,229

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCの商品で、輸送株と公益株以外の商品とサービスを提供する米国のすべての上場銘柄から、米国を代表する優良30銘柄を選出し、指数化したものです。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、円換算ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。

「Dow Jones Industrial Average」(ダウ・ジョーンズ工業株価平均) はS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」) の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS & P<sup>®</sup>はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S & P」) の登録商標で、DJIA<sup>®</sup>、The Dow<sup>®</sup>、Dow Jones<sup>®</sup>およびDow Jones Industrial AverageはDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。三菱UFJ国際投信株式会社の当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S & Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Dow Jones Industrial Averageの誤り、欠落、または中絶に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、 円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年1月28日	20,050	% —	18,888	% —	% 98.5	% 2.0
1月末	20,202	0.8	19,032	0.8	97.7	2.3
2月末	21,417	6.8	20,163	6.8	97.0	2.7
3月末	21,248	6.0	19,999	5.9	96.8	3.3
4月末	22,038	9.9	20,751	9.9	98.2	1.4
5月末	20,562	2.6	19,347	2.4	95.7	4.5
6月末	21,385	6.7	20,118	6.5	96.4	3.7
7月末	22,121	10.3	20,807	10.2	97.3	2.7
8月末	21,080	5.1	19,813	4.9	95.7	4.4
9月末	21,766	8.6	20,454	8.3	96.8	3.2
10月末	22,279	11.1	20,934	10.8	97.1	2.5
11月末	23,285	16.1	21,867	15.8	96.7	3.2
12月末	23,725	18.3	22,273	17.9	97.4	2.5
(期 末) 2020年1月27日	23,920	19.3	22,453	18.9	97.0	2.4

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ19.3%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(18.9%)を0.4%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

● 投資環境について

◎ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

- ・ 米国株式市況は、堅調な企業決算内容などを受けて上昇しました。

◎ 為替市況

米ドルは円に対して下落しました。

- ・ 為替市況は、期首に比べて0.3%の円高・米ドル安となりました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）（配当込み、円換算ベース）に採用されている株式（先物を含む）を主要投資対象とし、同インデックスに連動する投資成果をめざして、運用を行いました。
- ・ 高い株式組入比率を維持し、ベンチマーク採用全銘柄に投資を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異について

ベンチマークは18.9%の上昇になったため、乖離は0.4%程度となりました。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ その他の要因によるものです。

※その他の要因には、ファンドとベンチマークで適用される配当税率の差異によるプラス要因などが含まれます。

(主なマイナス要因)

- ・ 取引要因によるものです。

○ 今後の運用方針

- ・ ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。



○ 1万口当たりの費用明細

(2019年1月29日～2020年1月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) (先物・オプション)	円 2 (2) (0)	% 0.011 (0.009) (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	3 (3) (0)	0.012 (0.012) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用  信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	5	0.023	
期中の平均基準価額は、21,817円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年1月29日～2020年1月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 2,937 ( 141)	千アメリカドル 36,115 ( -)	百株 2,141	千アメリカドル 24,302

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国 株式先物取引	百万円 10,260	百万円 10,221	百万円 -	百万円 -

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○株式売買比率

(2019年1月29日～2020年1月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	6,585,254千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,901,633千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.34

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年1月29日～2020年1月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
為替直物取引	百万円 6,189	百万円 4,801	% 77.6	百万円 5,324	百万円 4,190	% 78.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年1月27日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
AMERICAN EXPRESS CO	431	462	6,249	681,571		各種金融
BOEING CO/THE	431	462	14,942	1,629,648		資本財
VERIZON COMMUNICATIONS INC	431	462	2,788	304,086		電気通信サービス
JPMORGAN CHASE & CO	431	462	6,158	671,684		銀行
CATERPILLAR INC	431	462	6,493	708,156		資本財
COCA-COLA CO/THE	431	462	2,667	290,970		食品・飲料・タバコ
CHEVRON CORP	431	462	5,173	564,235		エネルギー
WALT DISNEY CO/THE	431	462	6,479	706,643		メディア・娯楽
EXXON MOBIL CORP	431	462	3,067	334,555		エネルギー
GOLDMAN SACHS GROUP INC	431	462	11,190	1,220,382		各種金融
HOME DEPOT INC	431	462	10,731	1,170,340		小売
INTL BUSINESS MACHINES CORP	431	462	6,501	709,064		ソフトウェア・サービス
JOHNSON & JOHNSON	431	462	6,860	748,210		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MCDONALD'S CORP	431	462	9,770	1,065,615		消費者サービス
MERCK & CO. INC.	431	462	3,977	433,732		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
3M CO	431	462	8,240	898,690		資本財
PROCTER & GAMBLE CO/THE	431	462	5,788	631,277		家庭用品・パーソナル用品
PFIZER INC	431	462	1,841	200,874		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRAVELERS COS INC/THE	431	462	6,234	679,907		保険
UNITED TECHNOLOGIES CORP	431	462	7,085	772,777		資本財
UNITEDHEALTH GROUP INC	431	462	13,543	1,477,100		ヘルスケア機器・サービス
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	431	462	2,407	262,519		食品・生活必需品小売り
WALMART INC	431	462	5,290	576,947		食品・生活必需品小売り
INTEL CORP	431	462	3,167	345,401		半導体・半導体製造装置
CISCO SYSTEMS INC	431	462	2,259	246,427		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NIKE INC -CL B	431	462	4,719	514,697		耐久消費財・アパレル
MICROSOFT CORP	431	462	7,633	832,555		ソフトウェア・サービス
APPLE INC	431	462	14,723	1,605,737		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
VISA INC-CLASS A SHARES	431	462	9,482	1,034,136		ソフトウェア・サービス
DUPONT DE NEMOURS INC	431	-	-	-		素材
DOW INC	-	462	2,242	244,611		素材
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,939 30	13,876 30	197,712 -	21,562,561 <97.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	別	当 期		期 末	
		買 建 額	売 建 額	買 建 額	売 建 額
外国	株式先物取引			百万円	百万円
	EMINIDOW			536	-

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年1月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 21,562,561	% 97.0
コール・ローン等、その他	672,196	3.0
投資信託財産総額	22,234,757	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(22,219,120千円)の投資信託財産総額(22,234,757千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.06円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年1月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	22,354,719,971
コール・ローン等	432,489,354
株式(評価額)	21,562,561,736
未収入金	122,678,148
未収配当金	16,751,459
差入委託証拠金	220,239,274
(B) 負債	125,424,513
未払金	120,862,792
未払解約金	4,561,715
未払利息	6
(C) 純資産総額(A-B)	22,229,295,458
元本	9,293,223,521
次期繰越損益金	12,936,071,937
(D) 受益権総口数	9,293,223,521口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,920円

<注記事項>

- ①期首元本額 8,713,490,593円  
 期中追加設定元本額 3,511,665,868円  
 期中一部解約元本額 2,931,932,940円  
 また、1口当たり純資産額は、期末2.3920円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

eMAXIS NYダウインデックス	4,697,199,382円
NYダウ・インデックスファンド(為替ヘッジなし)	3,625,431,815円
NYダウ・インデックスファンド(為替ヘッジあり)	970,592,324円
合計	9,293,223,521円

○損益の状況 (2019年1月29日~2020年1月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	416,109,625
受取配当金	409,230,841
受取利息	6,909,411
支払利息	△ 30,627
(B) 有価証券売買損益	3,136,488,996
売買益	3,607,868,508
売買損	△ 471,379,512
(C) 先物取引等取引損益	139,054,637
取引益	185,920,740
取引損	△ 46,866,103
(D) 保管費用等	△ 2,431,826
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	3,689,221,432
(F) 前期繰越損益金	8,756,654,824
(G) 追加信託差損益金	4,017,834,345
(H) 解約差損益金	△ 3,527,638,664
(I) 計(E+F+G+H)	12,936,071,937
次期繰越損益金(I)	12,936,071,937

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

- ① つみたてNISAの適格要件対応のため、デリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的について、記載整備を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2019年4月27日)
- ② 株式等インデックスファンドのベンチマークを「配当込み指数」とすることを明示、併せて指数名称の記載整備を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2019年7月1日)